

障害者が主役 農福連携のビジネスモデル



2021年3月20日

ハートランド株式会社
代表取締役社長 谷 健次

コクヨ株式会社

1905年 黒田表紙店として創業

1917年 創業者の郷里である富山の国の誉れになるという思いを込めて「国誉」の商号を定める

企業理念

商品を通じて世の中の役にたつ

創業の精神

『カスの商売』



表紙は、帳簿全体の価格のわずか5%

面倒で、厄介な仕事でも懸命に取り組めば世の中の役に立つ

コクヨグループの事業紹介

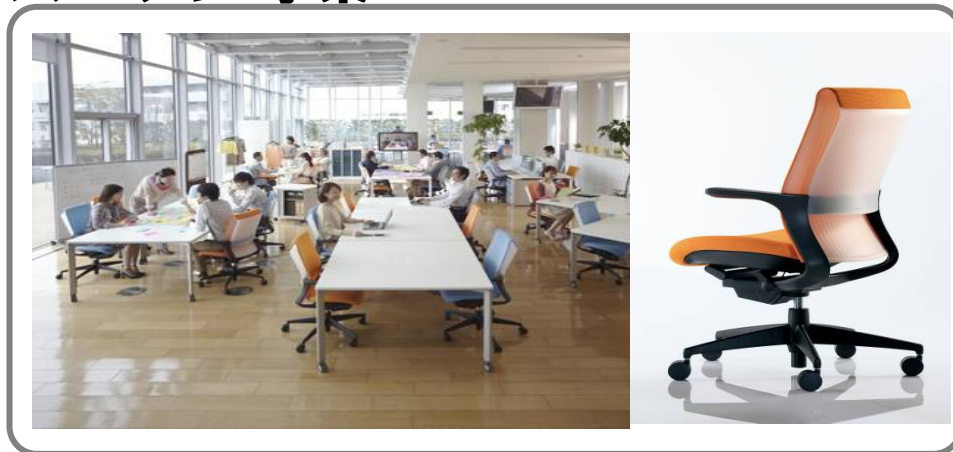
売上高：3,202億円 社員数：6,912名 連結子会社：20社

海外拠点：中国、タイ、インド、マレーシア、ベトナム、シンガポール (2019年12月期)

ステーショナリー事業



ファニチャー事業



オフィス通販事業



リテール事業



コクヨグループの障害者雇用のあゆみ

1940年（昭和15年）
障害者雇用開始

1961年（昭和36年）
八尾工場設立

2003年（平成15年）
コクヨKハート設立

■コクヨKハート設立の目的

- ・閉鎖される八尾工場勤務の
聴覚障害者の受入れ
- ・コクヨの**分社化における障害者雇用対応**

障害者
出向者 : 17名
プロパー : 1名
でスタート

<業務内容>

コクヨグループ向けの印刷物の製作からスタート

コクヨグループの障害者雇用のあゆみ

2006年（平成18年）
精神障害者が適応対象になる

2006年（平成18年）12月
ハートランド設立

■ **知的・精神障害者**の職種開発のため野菜栽培を開始



障害者
プロパー：8名
でスタート

障害者雇用について《グループ適用と雇用》

グループ適用実施会社

コクヨ (株)

(株) カウネット

(株) コクヨMVP

コクヨサプライ
ロジスティクス (株)

(株) コクヨ工業滋賀

コクヨ
マーケティング (株)

(株) コクヨロジテム

(株) アクタス

コクヨ アンド
パートナーズ (株)

コクヨKハート (株)
(身体・精神障害者)

ハートランド (株)
(知的・精神障害者)

<従業員99名 内 障害者54名>

<従業員16名 内 障害者7名>

2つの特例子会社が、コクヨ(株)と8つの子会社をグループ適用によりカバー。
コクヨグループの障害者雇用の中心を担っています。

2020年6月1日現在

雇用率
2.30%

※法定雇用率 2.2%

ハートランド株式会社 のご紹介



ハートランドの会社概要



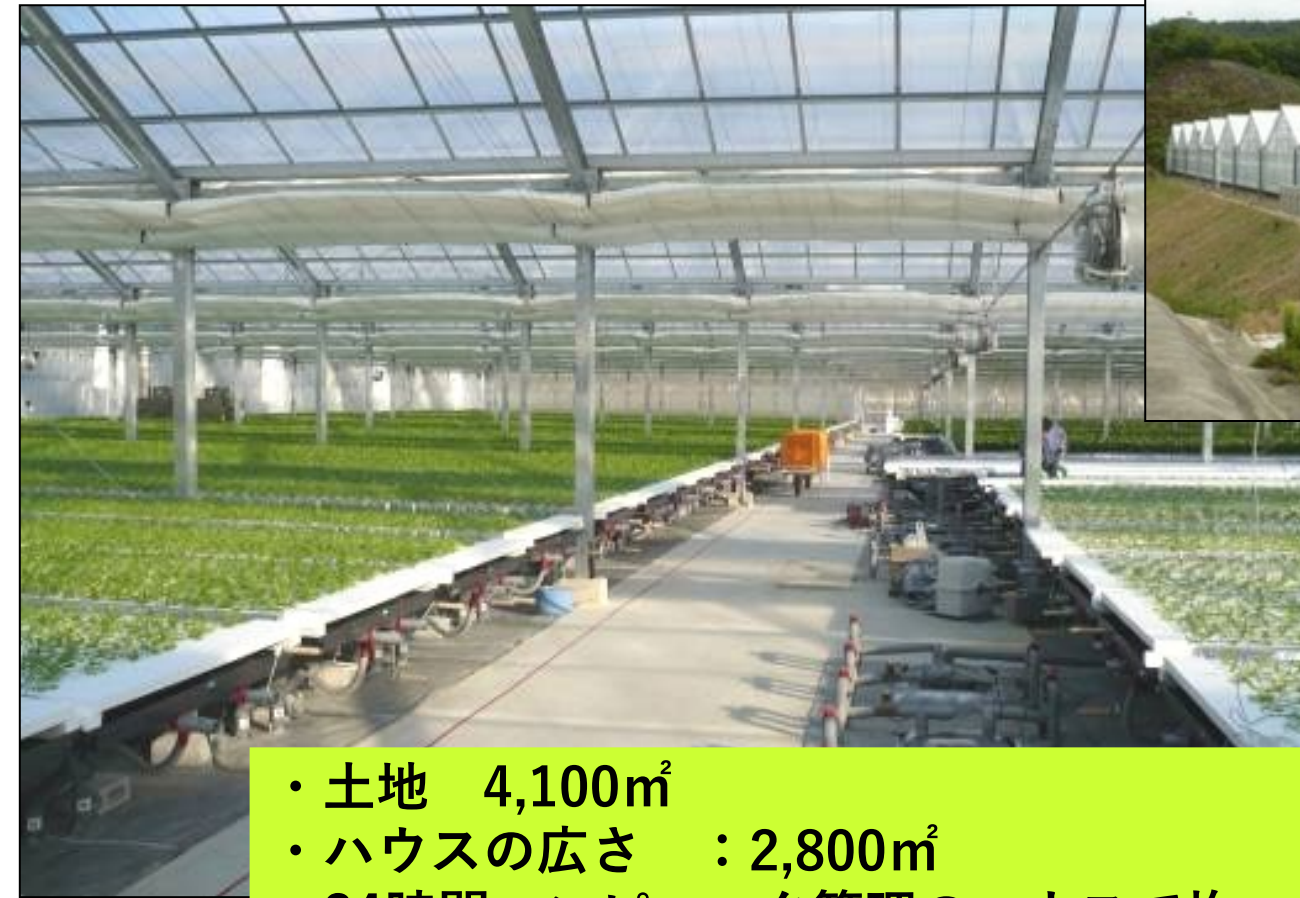
- **事業形態**：農地所有適格法人
(旧農業生産法人)
- **社名**：ハートランド株式会社
- **場所**：泉南市 かるがもの里
- **事業内容**：軟弱野菜の水耕栽培
及び 仕入販売
- **沿革**：2006.12 会社設立
2007. 1 農業生産法人認可
2007.10 操業開始
- **要員**：17名 (2020年6月)
社長 1名
健全者 9名 (管理者4名)
障害者 7名 (知的：5、精神：2)

設立主旨

- 農業を『新しい障害者雇用の場』と考え、
障害者に就労の場を提供する。
- コクヨグループとして、今まで雇用がなかった
知的障害者、精神障害者の雇用促進を行い、
グループ全体での障害者雇用率達成に寄与する。
- 更に農業という新しい障害者雇用のビジネスモデル
を構築し、障害者の自立を手助けする。

日本で第一号（2007年1月認可）
「特例子会社で農業生産法人」

ファーム風景



ハウス外観



子タンク

- 土地 4,100m²
- ハウスの広さ : 2,800m²
- 24時間コンピュータ管理のハウスで均一品質
- ベッド数 : 90ベッド (17m×1.2m)
- 液肥タンク 親タンク:1 子タンク:30
(子タンク1つで3ベッド)

事業概要

栽培野菜

サラダ
ほうれん草
(16作/年)

就業時間

<原則>

8:30～17:30

(最寄り駅に集合、
ワゴン車で送迎)

休日

週休2日制

出荷量

50 t /年
165kg/日

作業内容

本圃に入る前の手洗い



播種作業



苗テラスにて11日間育苗



定植作業



収穫作業



計量・袋詰め作業



販売先

自社栽培分は量販系がメイン



新商材へのチャレンジ



ハートランドのこだわり

お客様に品質の良いサラダほうれん草を提供するために

- ① 毎日、30もの子タンクのpHを測定し、一定値になるよう管理。
- ② 子タンク及びベッドを隅々まで手洗い、塩素殺菌、温湯殺菌。
- ③ 丁寧な培地・下葉の処理



① 子タンクのpH測定



② ベッド洗浄/塩素殺菌/温湯殺菌



③ 培地・下葉の処理

農と福祉について



農と福祉について

<生産者の課題>

農業就業人口は大幅に減少（1995年の半分以下に）
同時に高齢化も進む

<障害者雇用の課題>

雇用率の更なるアップ

2021年3月に2.3%、2023年には2.4~5%へ



■ノウフク連携が受け皿に

<ビジネスモデル>

- ①生産者として障害者を雇用し、自社で農業を行う
- ②障害者を雇用して、生産者からの業務委託を受ける
- ③障害者を出向者として受け入れ農業に受持する形態

農と福祉について

障害者にとっての農業・水耕栽培の良さ



- 仕事を播種、定植、収穫など単純な作業に分割でき、分かりやすい。
- 緑に囲まれていて明るい気分に。
- 野菜の成長を日々感じられ、やりがいがある。
- 雨が降っても、冬の寒い時期でも毎日就労の場が提供できる。
- 季節や天候に左右されず、1年中 収穫・出荷でき、売上が安定。

農と福祉について

きちっとした仕事を繰り返すことができるという適正を活かし、品質の高い野菜作りを！

そのために

①得意な仕事を見極めて、能力を伸ばし、作業効率をあげる

<播種作業>

- ・根気がある作業
- ・何時間でもやりつづける



<箱入れ作業>

- ・数に強くて、話をしながらでもほうれん草の数が数えられる



<洗 浄>

- ・複雑な工程が上手にできる
- ・きれいに掃除するのが得意



②いきいきと働ける職場づくり

- (例)
- ・頼りにされ、役に立ち、ほめられてこそ働く意欲がでる
 - ・自分の仕事を自覚して、自主的に働いている
 - ・同じ目線で会話をし、適度に手を差しのべる

マルチスキル化 ⇒ 教えるのも障碍者

	播種・定植	収穫	計量	自動包装機の取り扱い	数読み・製品チェック	タンク洗浄	PHチェック	ベッド洗浄	パネル類の洗浄
A		◎	◎	◎	○			◎	
B	◎	◎	◎			○	○		
C		◎	◎		○			◎	◎
D		◎	◎				△	◎	
E	◎	◎	◎		◎			○	
F	○	◎	◎		◎				○
G		◎	◎						◎

施設外就労の場として**年間6～7,000人前後**を受け入れ！



<効果>

自律推進:作業量増加に向け、本人が知恵を絞る工夫をする

やりがい:チーム作業は一定の社会性が要求される

ハートランドで働けることに誇りを感じる

自分がセットした野菜がスーパーに並んでいるのを見て嬉しい



ご清聴ありがとうございました